



2022年2月14日

各位

会社名 パーソルホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 和田 孝雄
 (コード番号 2181 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 CFO 関 喜代司
 (TEL 03-3375-2220)

Kelly Services Inc.との業務資本提携変更後の PERSOLKELLY Pte. Ltd.の事業戦略について

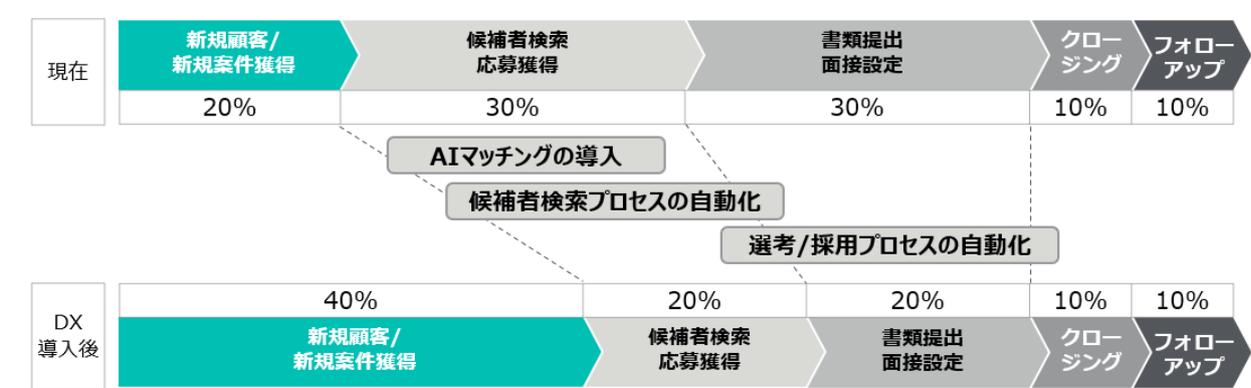
当社は、2022年2月14日付で公表した「業務資本提携の変更に関するお知らせ」のとおり、アジア・パシフィック地域での事業展開について Kelly Services Inc.（アメリカ合衆国 ミシガン州 CEO ピーター・W・クイグリー）から独立性を高めた形で今後事業を推進することとなりました。収益性向上に向けた今後の PERSOLKELLY Pte. Ltd.（以下、PERSOLKELLY）の事業戦略及び目標について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. DX 投資の推進

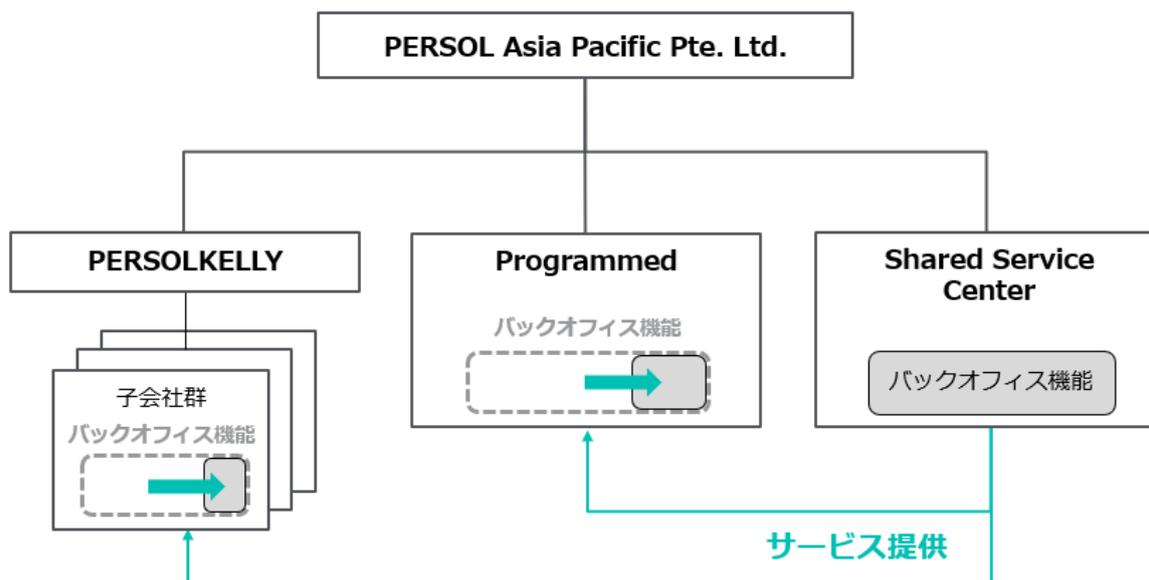
人材紹介事業において、DX 投資を推進することで、生産性を高め、収益性を向上させてまいります。AI マッチングの導入及び候補者検索・選考・採用プロセスの自動化により、応募者の獲得や面接設定に割く工数が削減されることで、新規顧客及び新規案件獲得への注力が可能となり、受注件数の増加に繋がると考えております。また、AI により候補者検索精度が向上することで、採用決定率が上昇する見込みです。結果、受注件数増加と採用決定率上昇の掛け合わせにより生産性は向上し、2026 年には現在と比較し、生産性は 30%超向上すると想定しております。PERSOLKELLY の生産性向上に加え、国内事業である Career SBU との協業を通じ、国内外双方向でのグループ内ナレッジの共有およびシナジー創出を目指してまいります。

(人材紹介コンサルタントの就業時間配分)



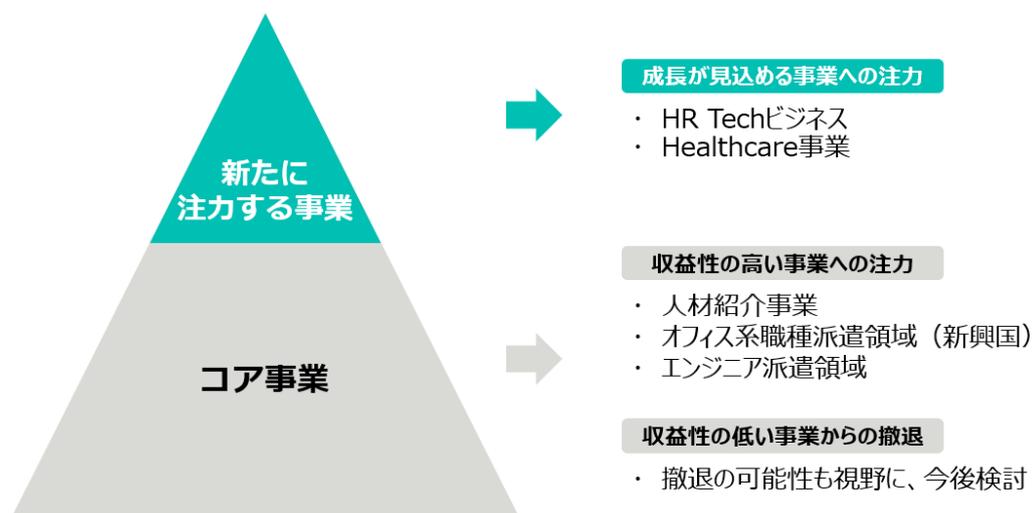
2. バックオフィス機能の最適化（コストの削減）

アジア地域で事業を展開している PERSOLKELLY と豪州で事業を展開している Programmed において、各社及び国/地域ごとに個別に行っていたバックオフィス機能を、アジア・パシフィックビジネス全体最適の視点から、適切な場所に統合及び集約化することでコスト削減を実現し、効率性を向上させ、収益性の向上を図ります。



3. 事業ポートフォリオの再編成

収益性の向上を目指し、収益性のより高い事業へ注力するとともに、収益性の低い事業からの撤退も視野に入れて事業の選別を行い、より強固なポートフォリオの構築を図ってまいります。また、今後成長が見込め、将来の基盤事業となりうる事業へも新たに注力し、次世代成長ドライバーとして大きく伸長させてまいります。



4. PERSOLKELLY の数値目標

次期中期経営計画最終年度である 2026 年 3 月期に、営業利益率 3% 超及び EBITDA Margin 4% 超を実現いたします。

なお、PERSOLKELLY を含む Asia Pacific SBU 全体の中期事業戦略及び数値目標については、2023 年 3 月期第 1 四半期決算発表時（2022 年 8 月予定）に開示する予定です。

以上